



水産科がモデル『ナカスイ！ 海なし県の水産高校』

淡水魚専門の本校水産科は、「海なし県」栃木にある全国唯一の存在です。そこに着目した水産科をモデルにした小説が出版されました。その名はズバリ『ナカスイ！ 海なし県の水産高校』（祥伝社刊）です。著者は県内在住の作家村崎なぎこさんで、前作の宇都宮市大谷を舞台にした『百年厨房』は、「第3回日本おいしい小説大賞」に輝きました。

『ナカスイ！』は馬頭高校水産科を「栃木県立那珂川水産高校」という架空の専門高校に設定して、ユニークなキャラクターが登場する笑いと涙の青春グラフィティです。地元那珂川町の住民ならご存じの若鮎大橋や武茂川などの地名のほか、モデルになっている商店などが登場するので、親近感を感じてとても楽しめる小説に仕上がっていると思います。（モデルになっている先生や生徒もいるかも知れません。）村崎さんは何度も本校や那珂川町に足を運んで取材を重ね、また、水産科の生徒研究集録等も参考にしてくださいました。本校水産科を全国的にPRする絶好の小説になることは間違いありません。

この小説の中で重要なモチーフになっているのは、アメリカの詩人サムエル・ウルマンの” YOUTH ”（ユース：青春）という詩です。村崎さんは執筆にあたり、本校会議室の毛筆で書かれた” YOUTH ” の訳詩をストーリーの展開に活用しています。『ナカスイ！』を書店でお見掛けの際は、是非お手に取っていただければ幸いです。



青春とは人生のある時期ではなく、キミの心が決めるものだ
若々しい頬、赤い唇、柔軟な肉体のことではない
強い意志、優れた想像力、あふれ出る感情、これが青春だ
青春とは人生の深く清らかな泉なのだ

サムエル・ウルマン『青春』の一節より